

# 日本舞踊協会公演

二月二十四日(土)

昼の部 午前十一時半開演

夜の部 午後四時開演

一、長唄「晒三番叟」  
さらしさんばそう  
振付 藤間藤子

花柳 吉史加  
花柳 楽彩  
藤間 蘭翔

二、清元「茶筌売」  
ちやせんうり  
茶筌売 若柳 宗樹  
小原女 吾妻 寛徳

三、長唄「水仙丹前」  
すいせんたんぜん  
振付 藤間忠輝子

吾妻 君彌  
花柳 時寿京  
花柳 基紫瑞  
坂東 はつ花

四、常磐津「地蔵の道行」  
じぞうみちゆき  
振付 二代目花柳昌太郎

地藏 扇衛仁  
地蔵 繪美舞也  
天女 扇重郎  
三社権現 知香之祥  
風神 柳樂人  
雷神 柳樂人  
頼政 藤間豊彦  
韓信 西川扇左衛門  
喜三太 若見匠 祐助

五、長唄「茶壺」  
ちやつば  
熊鷹太郎 西川 大樹  
目代某 若柳 源九郎  
彦三衛門

二月二十五日(日)

昼の部 午前十一時半開演

夜の部 午後四時開演

一、長唄「風流船揃」  
ふうりゆうふなぞろい  
振付 花柳寿榮

花柳 克昂  
花柳 寿彦  
花柳 静久郎  
藤間 直三

二、清元「花の雲助」  
はな くもすけ  
比丘尼 申晶  
遊女 和あやき  
御守殿 笹乃公  
巫女 秀衛  
田舎娘 薫子

三、義太夫「さるかに合戦」  
がつせん  
振付 西川扇与一  
振付 野口いさお  
作曲 鶴澤清治

花柳 寿美琴  
藤間 紫乃弥  
藤間 紫乃弥  
水木 扇升

四、義太夫「吉野山」  
よしのやま  
振付 藤間勘十郎

静御前 祐子  
佐藤忠信 寿美藏  
源九郎 狐

五、常磐津「釣女」  
つりおんな  
大名 若柳 吉蔵  
太郎冠者 若柳 延  
上臈 藤間 蓉  
醜女 藤間 也

人気・定評のある古典舞踊や近現代に創作された評価の高い作品、そして上方舞まで、日本舞踊ならではの多彩な魅力を楽しめる公演です。現在の日本舞踊界を代表する第一線の舞踊家が流派を超えて出演します。現代までいきいきと受け継がれてきた日本舞踊の「いまの姿」をぜひご覧ください。  
各部、古井戸秀夫氏(東京大学名誉教授)による見どころ解説がございます。

演奏 長唄/杵屋勝四郎・今藤長一郎(唄)、杵屋栄八郎(三味線)、清元/清元美寿太夫(浄瑠璃)、清元菊輔(三味線)、常磐津/常磐津一佐太夫(浄瑠璃)、常磐津文字蔵(三味線)、常磐津仲重太夫(浄瑠璃)、常磐津菊寿郎(三味線)、義太夫/竹本乾太夫(浄瑠璃)、地歌/富山清琴、富山清仁、大和榮/大和左京(唄)、大和櫻笙(三味線)、囃子/堅田新十郎

一、地歌「都十二月」  
みやこじゅうにつき  
振付 二代目榎茂都蘭性

山村 友五郎  
花柳 寿楽

二、長唄「宿の月」  
やどつき  
魚太郎 西川 千雅  
つる 藤間 恵都子

三、常磐津「紅翫」  
べにかん  
紅翫 西川 箕乃助  
蝶々売 泉 徳保  
町娘 柳 智彦  
朝顔売 若柳 裕  
若旦那 柳 延  
団扇売 柳 朋奈  
虫壳 花柳 奈卯女

四、清元「忍岡恋曲者」  
しのぶおかこいせもの  
しらたまごんくろう  
白玉 水木 佑歌  
伝次 藤間 蘭黄  
権九郎 花柳 寿太郎

五、大和楽「今昔浅草模様」  
こんじゃくあさくさもよう  
構成 花柳輔太郎

芸者 花柳 幸舞  
芸者 花柳 華  
芸者 花柳 華  
芸者 花柳 華  
芸者 花柳 華  
芸者 花柳 華